

2019年 JBCC

【日本ビジネススクール ケース・コンペティション】

MBA甲子園

～挑め！最高峰のケース・コンペティション～

2019年3月

JBCC実行委員会

Japan Business School Case Competition Execution Committee

1. JBCCとは
2. JBCCの背景・目的及び提供価値
3. JBCC2018実績報告
4. JBCC2019大会概要
5. 審査の流れ
6. 参加者の声

1. JBCCとは

-学生の学生による学生のためのケースコンペティション

架空企業のケースを用いて、企業再生と成長戦略の提案力を競う

・対象企業は、業界の構造変化に飲まれつつある架空企業

ビジネススクール生に期待される標準的経営知識による定量分析と定性面を総合的に捉え、以下の3点を経営者に提案する。

- ①. 経営状況の把握と課題分析
- ②. ターンアラウンド計画の立案
- ③. ターンアラウンド後の経営管理

・審査におけるポイント【過去実績より】

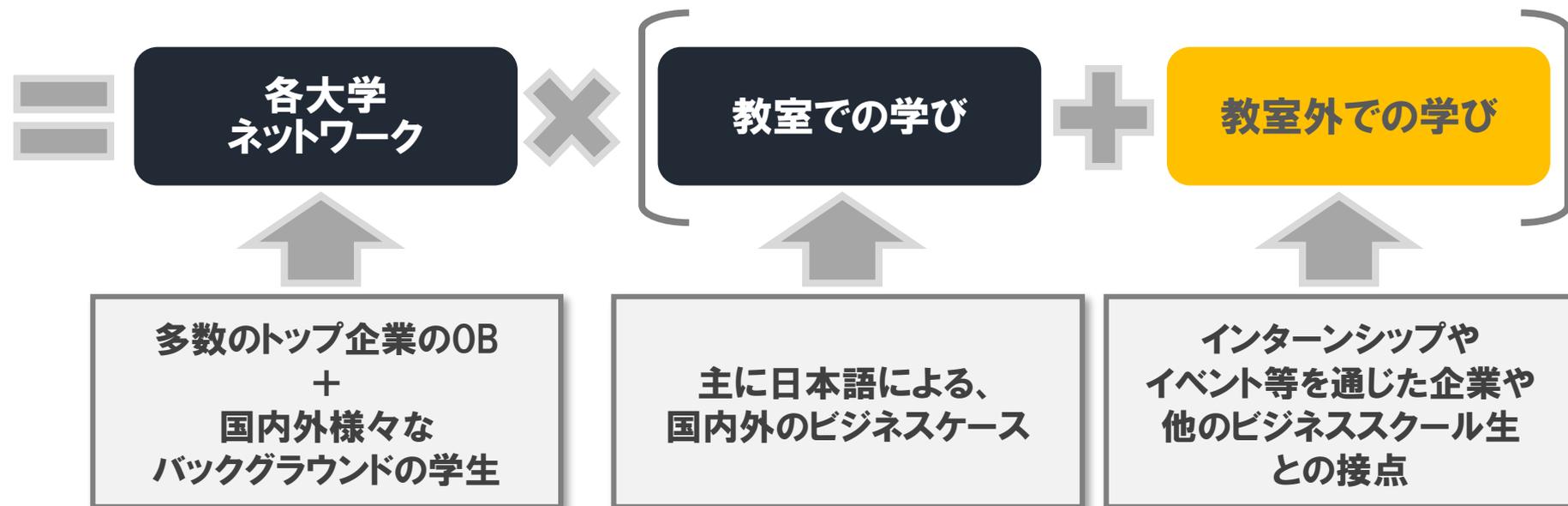
予選審査：提案内容の論理の一貫性と独自性

本選審査：更にプレゼンテーション能力とQ&A対応力

2-1. JBCC開催の背景

ー国内ビジネススクールの学習環境と外部の実世界との繋がり

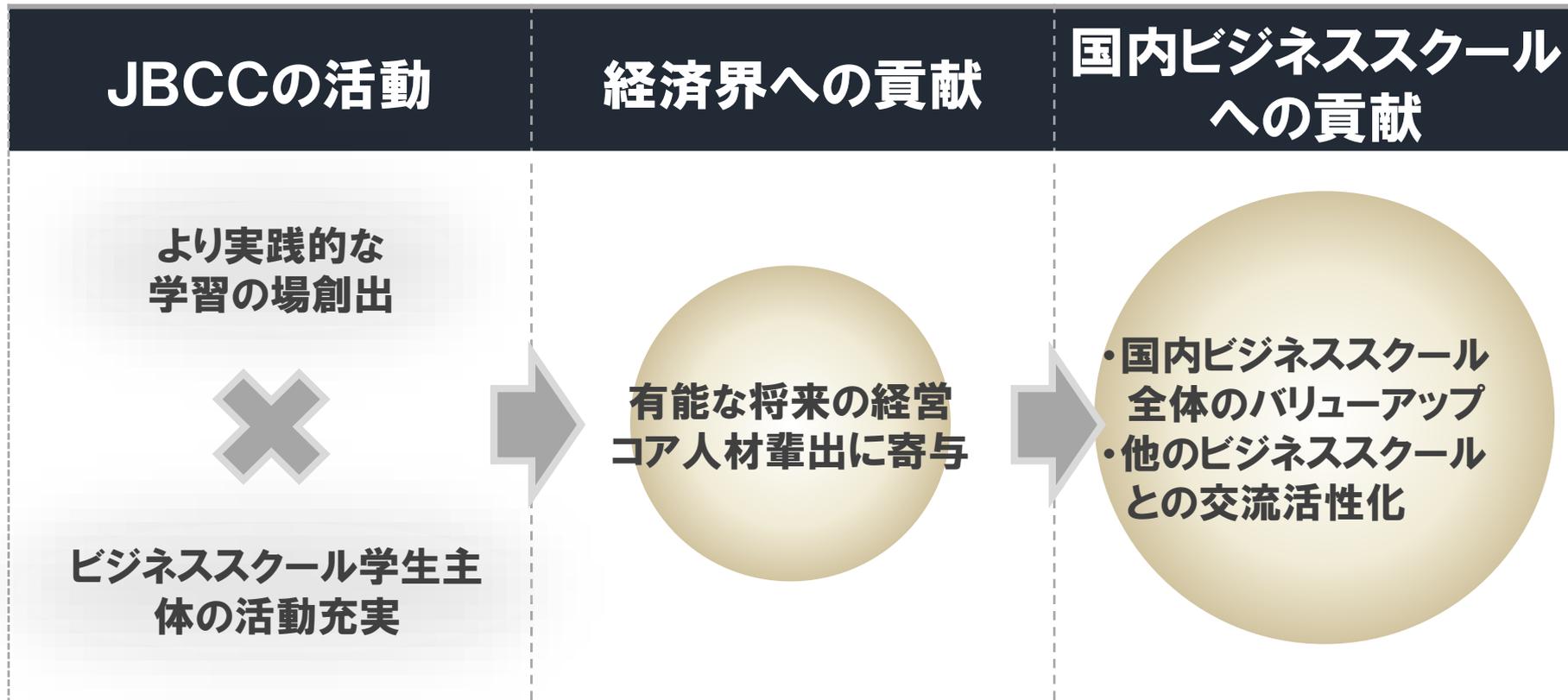
国内ビジネススクールの価値



国内ビジネススクール過程における、「教室外での学び」の機会をもっと増やしたい

2-2. JBCCの目的

ー国内ビジネススクール全体のバリューアップ、交流活性化



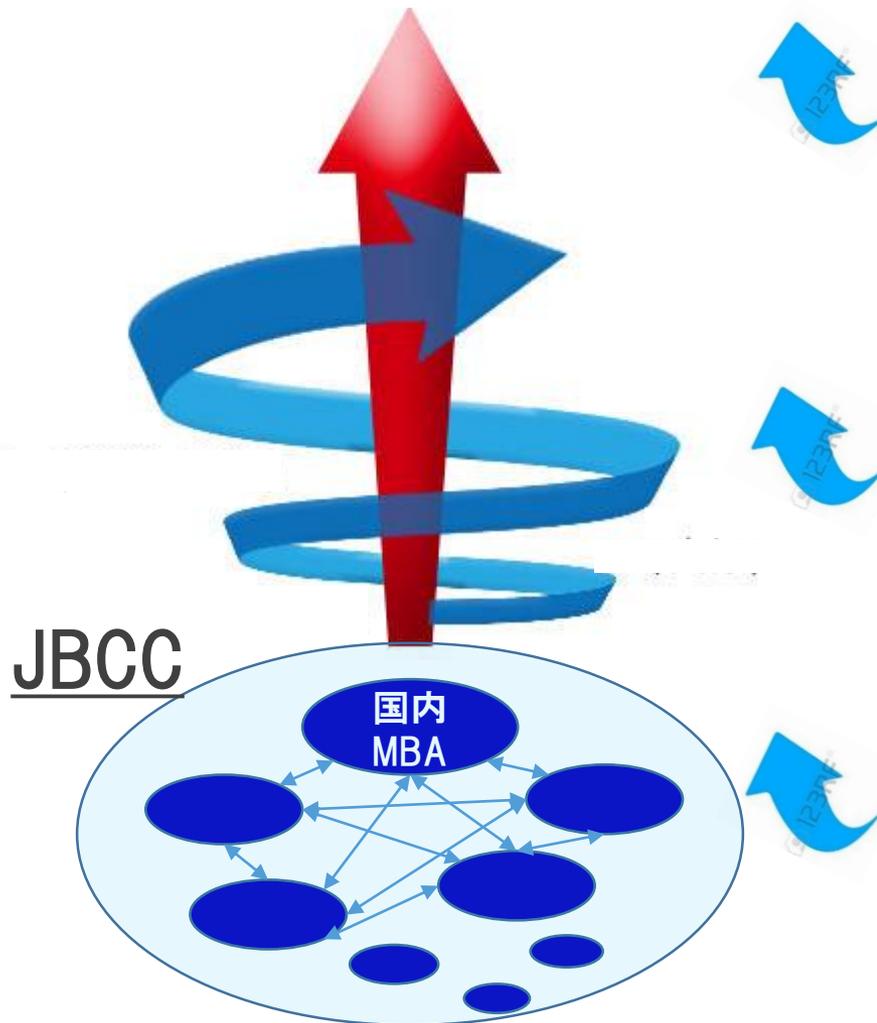
JBCCの活動を通じて、有能な将来の経営コア人材輩出に寄与し、**国内ビジネススクールの価値向上と交流を活性化**させる

2-3. JBCCの運営理念と提供価値

ー国内ビジネススクール全体のバリューアップ、交流活性化

JBCC

国内MBA人材の質向上



【日本経済界へ】

経営における問題点の抽出から実効性の高い戦略を一連の流れで提言することで、MBA人材への期待感を醸成する

【人材市場へ】

国内MBA生との接点を提供することで、ビジネススクールの認知向上と、取引先企業への提案力向上に貢献する

【参加する学生へ】

1. 学びを実践的にケースへ展開する力
2. 経営者からのフィードバックによる気付き
3. 学校間競争による切磋琢磨
4. 国内MBA間の交流による人脈形成

3. JBCC2018実績報告

ー過去最高のエントリー者数を達成!

2019年度も“最高峰”になるよう、皆様ご参加宜しくお願いします！

項目	小項目	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
参加者	参加学校数	8校	15校	12校	19校	21校	22校	21校	25校	22校	
	エントリー数	73名	256名	188名	382名	560名	599名	598名	623名	681名	
	チーム数	20チーム	68チーム	51チーム	105チーム	151チーム	160チーム	165チーム	170チーム	161チーム	
協賛	企業数	7社	9社	8社	10社	11社	18社	19社	26社	23社	
当日運営	観覧者数	96名	183名	約400名	約400名	約400名	約500名	約550名	約550名	約500名	
広報	取材媒体	朝日新聞(9/4)にて特集	NHKBizスポ(8/8)にて特集、Ustream	Ustream	日経ビジネス Online、DHBR HP、Ustream	日経ビジネス Online、DHBR HP、Ustream	日経ビジネス Online、DHBR HP、Ustream	Non	Non	Non	

JBCC10周年企画（検討中）

—JBCC活動10周年を記念した新たな試みを鋭意検討中

従来

ファイナル以降、提出された成果物が活用がない。
実際の現場との接点が少なく、机上の学びから域を脱していない。

JBCC2019



最優秀チームの報告を実際のモデル企業に対してご提案・グランドファイナル出場
チームの報告をモデル企業に資料を共有など、
成果物を通じた実企業との関わりを作り、社会還元を目指す（暫定案）



**エントリー～大会本選までの
スケジュールの流れに沿って、
JBCC・WEBページをご紹介します**

日程

- 4/08** **MON** エントリー受付開始
- 4/27** **SAT** エントリー受付締切
- 4/28** **SUN** ケース配布
- 4/28** **SUN** 予選資料提出 開始
- 5/19** **SUN** 予選資料提出 締切
- 6/下旬** **LATE** 予選通過発表
- 7/21** **SUN** **本選** 慶応義塾大学 日吉キャンパス
藤原洋記念ホール（生協館2F）

日程

4/08  **エントリー受付開始**

4/27  **エントリー受付締切**

4/28  **ケース配布**

4/28  **予選資料提出 開始**

5/19  **予選資料提出 締切**

6/下旬  **予選通過発表**

7/21  **本選** 慶応義塾大学 日吉キャンパス
藤原洋記念ホール（生協館2F）

Googleフォームで入力。

2～5名のチームを組んで頂きます。(別学校との混合チームでも可)

※Speedaの申し込みを行い場合は、エントリーと同時に申し込み

【申込規約】

- 氏名、所属校の虚偽申告、申し込み本人以外の出場は認めません。こうした行為が判明した場合は出場を取り消し、今後の本大会への申し込みは受け付けません。
- 大会中の映像、写真、記事、申込者の氏名、所属校、記録等のテレビ、新聞、雑誌、インターネット等への掲載権と肖像権は主催者に帰属します。
- 主催者は個人情報の保護法令を遵守し、参加者の個人情報を取り扱います。
- 大会参加者へのサービス向上を目的とし、関連情報の通知、エントリーチームの発表、結果の発表などに氏名、所属校、連絡先を利用いたします。
- MBA学生によるアウトプット大会のため、大学教員によるアドバイスの範囲を超える過度なコミットメントが見受けられた場合、失格とします。

日程

4/08  **エントリー受付開始**

4/27  **エントリー受付締切**

4/28  **ケース配布**

4/28  **予選資料提出 開始**

5/19  **予選資料提出 締切**

6/下旬  **予選通過発表**

7/21  **本選** 慶応義塾大学 日吉キャンパス
藤原洋記念ホール (生協館2F)



SNSもチェック!

Facebook に接続する



問い合わせ

JBCC2018 課題資料

JBCC2018の課題資料及び予選資料の提出規則、提出用フォーマットは以下よりダウンロードしてください。



JBCC2018 課題資料.zip

zip (圧縮) ファイル 739.0 KB

[ダウンロード](#)

日程

4/08 **MON** エントリー受付開始

4/27 **SAT** エントリー受付締切

4/28 **SUN** ケース配布

4/28 **SUN** 予選資料提出 開始

5/19 **SUN** 予選資料提出 締切

21
DAYS

6/下旬 **LATE** 予選通過発表

7/21 **SUN** **本選** 慶応義塾大学 日吉キャンパス
藤原洋記念ホール (生協館2F)

(昨年度)

A4の提出フォーマット(本文+添付資料で 5 枚以内)

5/19(日) 23:59 〆 切り!

エントリーNO : 092

1.提案の要旨

- ◇ 当社は二期連続当期赤字であり、CF に比して有利子負債の返済ピッチが早く、当期内に資金ショートが想定されるほど財務は危機的な状況。
- ◇ メインバンクの支援を得る再生戦略として、以下4点の施策を実行し、財務の立て直しを図る。
 - ① 経営理念の徹底と従業員の意識改革。
 - ② 上海工場を売却。兵庫工場へ生産を移管し、稼働率向上と固定費の削減を行う。
 - ③ ブランドマネージャーに権限と責任を委譲する。マネージャーは独自にブランド戦略を立案する権限を持つ一方で、利益目標に対して責任を負う。売上重視から利益重視へとシフトし、管理会計の精緻化により、ブランド毎の採算管理を徹底する。
 - ④ 組織改革と新たな人事施策により社員の定着化を図り、スキル・ノウハウの共有による販売力強化を狙う。
- ◇ 責任を持ってPDCAを回すブランドマネージャーと、経営理念を軸に持つ自律的な従業員により、成長戦略を

(イ) BS 及び CF について

自己資本比率 15%と他大手アパレル平均 53%と比較して低く、利益剰余金は▲358 百万円とマイナスにあり、財務は脆弱で安定性は低い。

CF 面では、営業 CF で投資及び財務 CF を賄いきれず、営業 CF に比して、借入金の返済ペースが早いといえる。収益償還年数は 4.2 年 (= 要収益償還債務 ÷ 営業 CF) と 10 年以内に収まっており、一見問題ないように見えるが、前期末計上された 1 年以内長期借入金 5,427 百万円と流動負債上のリース債務 1,342 百万円であることから、2016 年に返済となる要償還債務は 6,769 百万円と見積もられる。2015 年の営業 CF は 2,243 百万円であることから、大幅に改善させるか、長期借入金のリファイナンスを行うことが出来なければ、資金ショートする可能性が極めて高いといえる。黒字化による営業 CF の増加と長期借入金のリファイナンスを行うためにメインバンクが納得しうる業績改善策を早急に練り、資金支援を得る必要がある。

(2) 各ブランドの戦略とその課題

日程

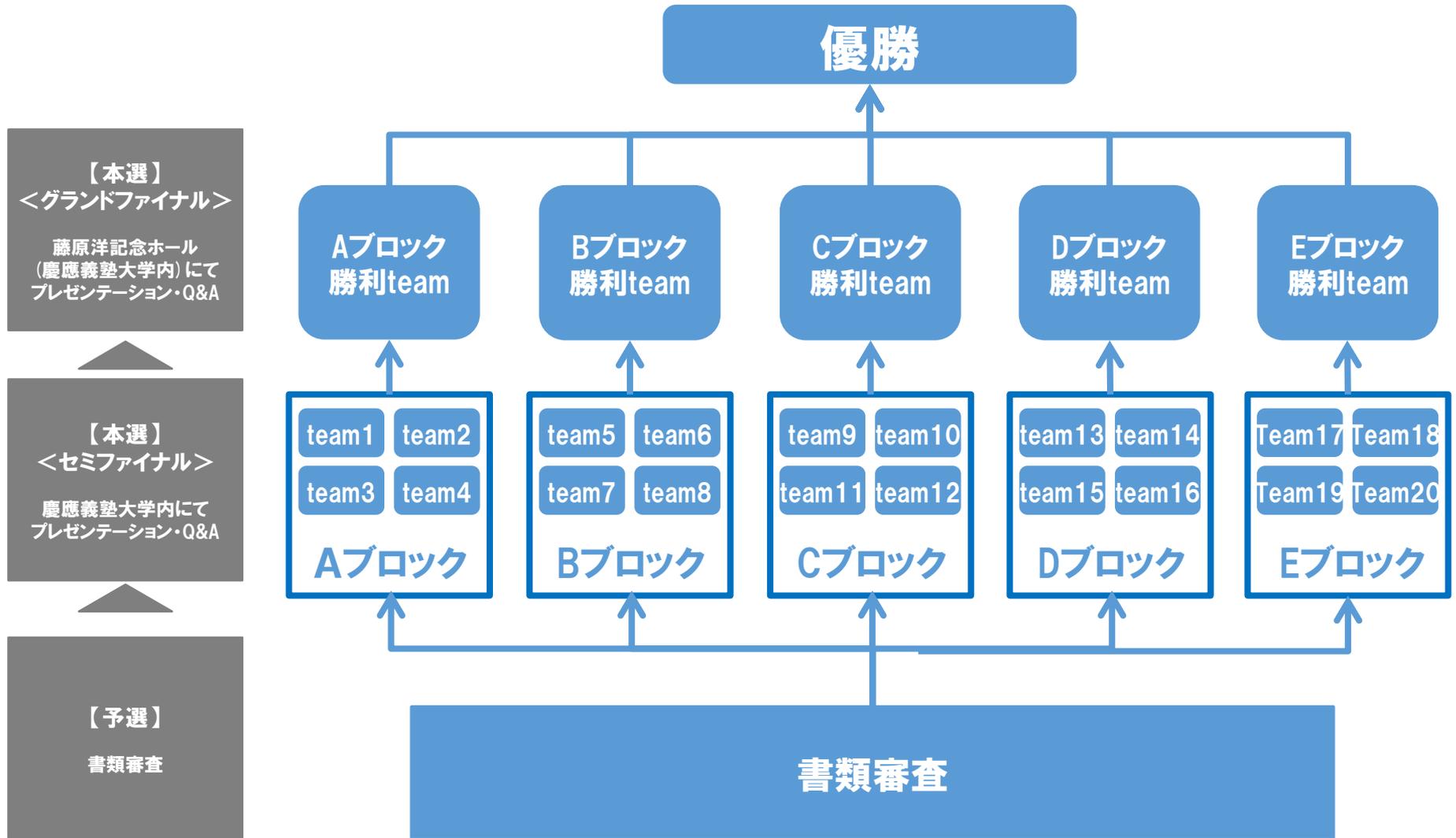
- 4/08** **MON** エントリー受付開始
- 4/27** **SAT** エントリー受付締切
- 4/28** **SUN** ケース配布
- 4/28** **SUN** 予選資料提出 開始
- 5/19** **SUN** 予選資料提出 締切
- 6/下旬** **LATE** 予選通過発表
- 7/21** **SUN** **本選** 慶応義塾大学 日吉キャンパス
藤原洋記念ホール (生協館2F)

本選当日のスケジュール

ー昨年大会のタイムテーブル(ご参考)

時間	内容
09:00	参加者・審査委員来場
09:30	開会式
10:00	<u>セミファイナル プレゼン</u> (5教室同時進行) (15分発表+5分QA+3分講評)×4チーム
11:50	休憩
12:50	審査委員紹介、ケース紹介10分 <u>グランドファイナル プレゼン</u> (@藤原洋記念ホール) (15分発表+10分QA+3分講評)×5チーム
16:40	表彰式・講評
18:30	懇親会
20:30	終了

5. (参考) 2018年審査方法 -JBCC大会の流れ



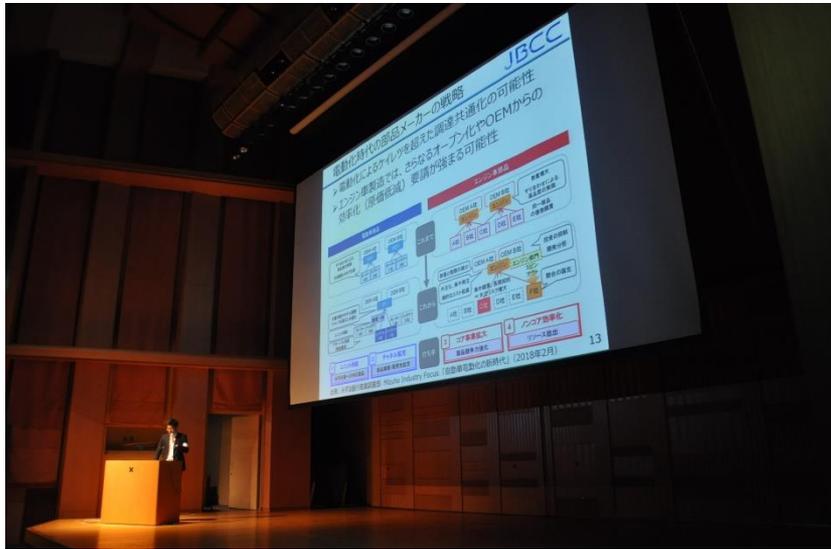
- 第1回 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科
- 第2回 グロービス経営大学院大学 経営研究科
- 第3回 神戸大学大学院 経営学研究科
- 第4回 一橋大学 大学院商学研究科
- 第5回 グロービス経営大学院大学 経営研究科
- 第6回 一橋大学 大学院商学研究科
- 第7回 慶應義塾大学大学院 経営管理研究科
- 第8回 グロービス経営大学院大学 経営研究科
- 第9回 神戸大学大学院 経営学研究科

神戸大学1位・特別賞を受賞

本選(セミ・ファイナル)の様子



本選(グランド・ファイナル)の様子



本選(出場者懇親会)の様子



2013年：エレクトロニクス

2014年：学習塾

2015年：本屋

2016年：アパレル産業

2017年：家具業界

2018年：自動車部品業界

Q. JBCCに出てよかったことは？



グロービス
大阪校
Sさん

色々な視点で物事を考えることができたこと、チームプレーの素晴らしさや意味が実感できたこと、金は大事と思ったこと、JBCCのケースが私の中で一番考え抜いたケースだったので、しんどかったけど(特に1年目)すごい達成感があったこと。



グロービス
大阪校
Mさん

初出場ということもあり、みんなに引っ張ってもらった立場なので、チームみんなから基本的なこと、新しい発想、たくさん学んだ。インプットとアウトプットを両方とも全力でしたことはこれが初めて。自分の限界を知れた。そして限界を超えたことによって大きくなれた。グロービス生活が大きく変化したきっかけとなった。

Q. JBCCに出てよかったことは？



グロービス
大阪校
Yさん

- ・企業経営をテーマにした総合格闘技。きれいかどうかじゃない、最後に勝てるかというリアルに近いところで戦うからこそ、得るものが大きかった。
- ・チームで短期間でアウトプットをまとめることの難しさと楽しさを体験することができた。
ただし、そのチームは「共通言語を持つ、前に進もうとするメンバー」だということを忘れてはならない。

JBCC公式HP

(<https://jbcc.jimdo.com/>)

及び

JBCC公式facebookページ

(<https://www.facebook.com/JBCC.MBA/>)

で大会情報アップデート致します！

**この説明を聞かれた方と、
そのお友達の方は、
全員エントリーの方向で
ご調整ください！！**

Speeda登録時に、以下に該当していないかご確認をお願い致します！

①フリーアドレスを使用している:

アカウント発行NGなので、企業アドレスが使えない場合は学校アドレスにしてください

②企業アドレスでないものを使用している理由が不明瞭:

簡便のためとか、面倒だからなどの理由が多いです。長文テキストを入力できる欄なので、できるだけ詳しく理由を記載してください。

※可能ならば、企業アドレスで入力頂けた方が、確実だと思います。

※ユーザーベース様からのSPEEDA無償使用に対しての「give & take」ということで、ご協力いただけると幸いです。